

市立病院経営会議議事録（平成30年度）

市立病院 経営統括部

- 1 平成30年度第1回定例経営会議
- 2 平成30年度第2回定例経営会議
- 3 平成30年度第3回定例経営会議
- 4 平成30年度第4回定例経営会議
- 5 平成30年度第5回定例経営会議
- 6 平成30年度第6回定例経営会議
- 7 平成30年度第7回定例経営会議
- 8 平成30年度第8回定例経営会議
- 9 平成30年度第9回定例経営会議
- 10 平成30年度第10回定例経営会議
- 11 平成30年度第11回定例経営会議
- 12 平成30年度第12回定例経営会議
- 13 平成30年度第1回臨時経営会議（9月）
- 14 平成30年度第2回臨時経営会議（12月）

平成30年度第1回経営会議要約

日時:平成30年4月23日(月)16時30分～17時20分

1 報告事項

1)4月分収益・患者数集計(速報)について(経営統括部)

- ・4月15日までの速報値について報告
- ・入院患者数は昨年比で38人/日減少しており、1億円/月の減収が見込まれる。
- ・外来患者数は、89人/日減少しており、2100万円/月の減少が見込まれる。
- ・手術件数は、整形外科が増加しているが、他科においては減少している。

2)平成30年3月分損益計算書について(経営統括部)

本日資料

- ・3月分の進捗は前年比で入院が5300万円の減収。外来は130万円の増収。
- ・入院患者数の減少が顕著(昨年比で24人/日減少)
- ・3月分の薬品費は1200万円増となったが、診療材料費は860万円の減となった。
- ・3月に減収が顕著な診療科は、外科が800万円、消化器内科が3500万円、救急科が2900万円。
- ・本日資料では年間収支は1億800万円の赤字ですが、今後、消費税や退職給付費の確定、2,3月分の査定減が加算され、最終的には1億5～6000万円程度の赤字決算の見込み。

2 審議事項

1)緊急医療機器整備

- ・自動遺伝子解析装置(小林診療部長)
CDI判定が5日間から2～3時間に短縮し、個室隔離費用のコストの軽減に貢献できることから導入することが承認された。

2)レスパイト入院の運用について(病院長)

本日資料

- ・レスパイト入院の担当科を内科系の診療科で輪番とすることが承認された。

3)第2次行財政運営アクションプランの変更について(経営統括部)

- ・第2次行財政運営アクションプランの項目として、市立病院改革プラン及びアクションプランに掲げる主な項目に見直すことが承認された。

4)平成31年度看護師採用について(経営統括部)

- ・平成31年度看護師採用にあたって、本院での看護師の必要人数がわかる詳細資料を配布することで新卒者21人を採用する計画について承認された。

5)宝塚市立病院地域医療懇話会の開催について(馬淵診療部長)

本日資料

- ・第4回地域医療懇話会を6月9日(土)宝塚ホテルで開催することについて承認された。

3 その他

- ・明石事業管理者より前回保留となったシステム生物顕微鏡の導入に向けて決裁合議で承認を求めた経過を説明した。

平成30年度第2回経営会議要約

日時:平成30年5月28日(月)16時30分～17時20分

1 報告事項

1)5月分収益・患者数集計(速報)について(経営統括部)

- ・5月20日までの速報値を報告。
- ・入院患者数は前年同月比で52人/日減少しており1億円/月の減収が見込まれる。
- ・外来患者数も36人/日減少しており、160万円/月の減収が見込まれる。
- ・手術件数は、眼科が増加しているが、他科においては概ね減少している。

2)平成30年4月分損益計算書について(経営統括部)

本日資料

- ・入院稼働額は6,300万円の減で、一日当たりの入院患者数は37人減の306人。
- ・外来稼働額は1,200万円の減で、一日当たりの外来患者数は41人減の846人。
- ・費用は給与費が1,000万円、薬品費も100万円増加している。
- ・経常損益は1億3,500万円の赤字。4月期だけで前年度1年分ぐらいの赤字額。

3)平成30年6月市議会議案提出について(事業管理者)

- ・市立病院条例の一部を改正して、初診加算の改定(2,000円⇒医科5,000円、歯科3,000円)と新設(医科2,500円、歯科1,500円)。平成30年10月1日から施行する。

4)宝塚市立病院経営改革検討会の設置について(事業管理者)

- ・文教生活常任委員会の付帯決議を受け、市と市立病院が病院経営情報を共有して、経営改善に向けた再診加算の検討を行う。市立病院からは管理者・副管理者・病院長・看護部長がメンバー。

5)院外からの放射線治療依頼について(がんセンター長)

- ・放射線治療中の有害事象の対応に関して、該当診療科で対応することを承認する。

本日資料

2 審議事項

1)支出の抑制策について(事業管理者)

- ・具体的な支出の抑制策の説明文を取りまとめて、実施していくことを承認する。

本日資料

2)平成30年度病院事業目標及び各部署の目標設定並びに各ヒアリングのスケジュールについて(事業管理者)

- ・平成30年度病院事業目標を決定し、この目標を踏まえて各部署の事業目標を策定する

本日資料

を承認する。できるだけ早い時期に各部署のヒアリングを行う。

3)ホームページにて募集する医師の診療科について(経営統括部)

- ・消化器内科・小児科・糖尿病内科を追加してホームページで募集することを承認する。

3 その他

救急外来で受診した患者への対応について(病院長)

本日資料

- ・LGBTの方を含めて患者の思いに寄り添い、丁寧な診療や説明に心がけていこう。
- ・今後も職員研修など病院として様々な取り組みに努め、院内での議論を深めていく。

平成30年度第3回経営会議要約

日時: 平成30年6月25日(月)16時30分～16時55分

1. 報告事項

1) 6月分収益・患者数集計(速報)について(経営統括部)

- ・6月1日～17日までの進捗について報告
- ・外来については、患者数、収益、単価ともに概ね予算どおりで進捗
- ・入院は、患者数313人と昨年度実績より41人、6,200万円の減
- ・入院単価は51,400円と低調である。

2) 平成30年5月分損益計算書について(経営統括部)

本日資料

- ・入院稼働額は、昨年度比で7,500万円の減、外来は1,550万円の増であった。
- ・給与費450万円、薬品費1,700万円の増であり、5月分の経常損益は7,700万円の赤字であった。
- ・4月5月の2か月分の収支は、2億1,250万円の赤字と大変厳しい状況となっている。

2. 審議事項

1) 平成30年度病院事業目標について(事業管理者)

本日資料

- ・5月の経営会議で今年度の事業目標を定めたが、紹介患者受け入れに関する内容を入れるべきとの意見があり、資料のとおり目標項目の追加を行うこととする。

2) 結核感染症対策マニュアルの改訂について(病院長)

本日資料

- ・結核接触者検診における接触患者の対応について、結核感染症対策マニュアルの改訂に反映することについて承認された。

3. 事業管理者からの連絡等

- ・妙中名誉院長に、今後、経営会議、運営会議等、病院の重要な会議に出席していただくことを報告した。

以上

平成30年度第4回経営会議要約

日時:平成30年7月30日(月)

1 報告事項

1)7月分収益・患者数集計(速報)について(経営統括部)

- ・7月22日までの速報値をもとに報告。
- ・外来は単価は若干上がっているが、前年度より450万円減。予算よりは1,470万円の増となる。
- ・入院は前年度より7,200万円の減で、予算よりも6,750万円の減。4,5,6月よりも改善してきている。
- ・入院患者が減っているのと、手術件数も少し減っている。1件当たりの単価減が大きく影響している。

2)平成30年6月分損益計算書について(経営統括部)

本日資料

- ・入院稼働額は昨年同月比で4,300円減だが、本年前月よりも2,500万円回復。
- ・外来稼働額は前年同月比で1,000万円減。給与費と材料費はともに減。
- ・6月の経常損益は5,300万円の赤字。4月、5月よりも赤字幅は改善しているが、このままの赤字幅であれば、年間7億5,000万円の赤字で、予算の倍以上の赤字になる。

3)宝塚市立病院経営改革検討会での検討内容について(経営統括部)

本日資料

- ・同会の所掌事務、メンバー並びに第1回及び第2回検討会での検討内容を報告する。

2 審議事項

1)緊急医療機器整備

- ・細菌検査システムサーバー(経営統括部)

申請内容のとおり、システムサーバとクライアントPCの更新が承認された。

2)平成30年9月市議会議案提出について(経営統括部)

本日資料

- ・平成29年度宝塚市病院事業決算

資料の決算概要を説明し、市議会に提出することが承認された。

3)外来棟改造工事の施工について(事業管理者)

本日資料

当該工事の整備費は地方債を充当する予定だが、本年度は資金不足比率が10%を超えるため、地方債の借入は県知事の許可が必要。許可を得るためには、前提となる資金不足解消計画が承認されるまで、工事契約の手続きを延期することとした。

4)職員の採用について(経営統括部)

今後、当初予定よりも照射件数が増加することが予測されることから、安全な放射線治療を実施するため、平成31年4月に放射線技師2名を採用することが承認された。

5)同性パートナーの対応について(病院長・性的マイノリティ支援検討部会リーダー)

本日資料

当院では家族等に同性パートナーも含まれるとして、親族、保証人、法定代理人、同性パートナーが、手術や検査の同意書に患者と連名で署名できものとする。患者との関係は記載されたものを尊重する。

3 前回議事録確認

・平成30年度6月経営会議確認(事業管理者)

資料について確認する。

4 事業管理者からの連絡等

・兵庫医科大学との連携について

本日資料

これまでの大学からの医師派遣の関係だけでなく、相互に顔の見える関係をつくり、連携を深めるため勉強会を開催する。消化器症例に関する勉強会を本年10月4日(木)に兵庫医科大学病院で開催する。

院内感染対策に関する勉強会を来年2月に開催予定。腫瘍内科に関する勉強会を来年6月に開催予定。

・地域包括ケアシステム推進に向けたミニシンポジウム

本日資料

8月18日(土)に当院講堂で多職種連携をテーマにミニシンポジウムを開催する。

○市立病院勉強会:8月はありません

○次回経営会議:8月27日(月)午後4時30分~5時30分

平成30年度第5回経営会議要約

日時:平成30年8月27日(月)

1. 報告事項

1)8月分収益・患者数集計(速報)について(経営統括部) ※8月17日までの速報値をもとに報告

・外来稼働額は、注射とリニアックの増により予算・前年度よりも増。

入院稼働額は、予算・前年度より減だが、入外あわせると本年度初めて、予算を上回る見込み。

2)平成30年7月分損益計算書について(経営統括部)

本日資料

・入院稼働額は5億1,500万円で前年度より5,200万円の減だが、4月を底に右肩上がりに推移している。

・入院患者数も328人で、5月以降回復基調にある。

・給与費比率は63%。まだ60%を超えているが、医業収益増により下がってきている。

・経常損益は、2,200万円の赤字。4月以降の赤字幅に比べると縮小しているが、予算よりもまだ赤字が大幅に超過している。

3)本院のLGBT取組内容のホームページへの公開について(病院長)

本日資料

・別紙資料の内容を病院ホームページに掲載することを報告する。

2. 審議事項

1)緊急医療機器整備

・薬用冷蔵ショーケースと創外固定器について、緊急を要すると判断し整備することが承認された。

2)平成31年度実施計画について(事業管理者)

本日資料

・既採択事業(施設大規模改修、医療機器、電子カルテ等の医療情報システム)、新規事業

(院内保育所設備、隣地取得後の造成)の財源負担してもらう事業を市へ要望することが承認された。

3)接触者検診について(病院長)

本日資料

・接触者検診マニュアルを見直し、t-spotを年齢に係らず実施する。資料のとおり対応することとすることが承認された。

3. 前回議事録確認

平成30年度7月経営会議確認

4. 事業管理者からの連絡等

医療技術部の創設等について、臨時の経営会議を開催する。日時:9月12日(水)午後4時30分～午後5時30分。

5. お知らせ

・市立病院勉強会

日時:平成30年9月27日(木)17:30～

場所:市立病院北棟 講堂1

演題:『慢性腎臓病と骨・血管・副甲状腺』
＜CKD・MBD,Ca・P＞基礎編

講師:宝塚市立病院 腎臓内科主任部長
竹中 義昭 先生

・次回、定例の経営会議:9月25日(月)午後4時30分～5時30分

平成30年度第6回経営会議要約

日時:平成30年9月25日(火)

1. 報告事項

1)9月分収益・患者数集計(速報)について(経営統括部)

- ・前年よりも平日が2日少なく収益にもマイナスに影響する。
- ・外来収益は予算より14,000千円のマイナス。外来患者数は前年よりマイナス。
- ・入院収益は予算より75,000千円のマイナス。入院単価は50,683円。
- ・入外あわせて予算より89,600千円のマイナス見込み。

2)平成30年8月分損益計算書について(経営統括部)

本日資料

- ・入院稼働額は5億3,400万円。前年同月より3,100万円の減だが、4月から毎月右肩上がりに推移。
- ・入院単価は52,387円で、7月が50,741円と低調であったことから、1,500円の回復。
- ・外来稼働額は、8月が2億7,900万円で、本年度はじめて2億7,000万円を超えた。
- ・外来患者数はお盆の影響もあり、833人で今年度一番少ない患者数。
- ・費用は、薬品費が前月より2,500万円の増。
- ・経常損益は、7月まで赤字幅が縮小してきたが、赤字幅が拡大して3,000万円の赤字。

2. 審議事項

1)平成30年度に導入する医療機器について(経営統括部)

本日資料

- ・資料のとおり報告があり、一覧表の医療機器導入について承認された。

2)年末年始の放射線治療に伴う休日照射業務について(がんセンター長)

本日資料

- ・資料のとおり年末年始の休日照射業務が承認された。

3)宝塚市立病院改革プラン2017・平成29年度の進捗状況について(事業管理者)

本日資料

- ・H29年度の数値目標と経営指標の実績について、資料のとおり報告した。

3. 事業管理者からの連絡等

- ・10月1日付人事異動内示について、説明があった。

平成30年度第7回経営会議要約

日時:平成30年10月31日(水) 16時40分～

1 報告事項

1)10月分収益・患者数集計(速報)について(経営統括部)

- ・21日までの速報。外来は予算より2千万円の増。患者も61人増だが、単価は355円の減。
- ・入院は予算より1億300万円の減。患者数は295人で予算より49人の減。単価は5万321円。
- ・入外では予算より8千200万円の減。

2)平成30年9月分損益計算書について(経営統括部)

本日資料

- ・入院稼働額は4億8千万円で、8月よりも5千万円の減。1日当たりの入院患者も314人と低調。
- ・外来稼働は、9月の診療日が18日と少ないこともあるが、2億3千万円と低調。
- ・給与費比率は、医業収益が大幅減により67%と大幅アップ。
- ・材料費は稼働額が少ないこともあり、前月よりも大幅減。
- ・経常損益は、単月だけで1億700万円の赤字。4月からでは4億2千万円の赤字。

3)地域医療調査業務報告書等について(経営統括部)

- ・経営会議での報告は取り止め、11月5日(月)の運営会議で報告する。

4)受変電設備の点検について(経営統括部)

- ・11月11日(日)に受変電設備点検を実施することに伴い、一部施設で停電が発生することを説明する。

5)平成30年度病床機能報告について(経営統括部)

- ・ICU4床、救急医療センター24床、6階西病棟38床の合計66床を高度急性期病床とし、323床を急性期病床として報告する。

2 審議事項

1)平成30年12月市議会議案提出について(経営統括部)

平成30年度宝塚市病院事業会計補正予算

- ・資料のとおり、収益を52,962千円減額し、費用を150,671千円増額する補正予算を市議会に提出することが承認された。

2)平成31年度予算編成について(事業管理者)

本日資料

- ・資料のとおり平成31年度予算編成方針が承認された。

3)特別医療業務手当の改正について(事業管理者)

本日資料

- ・資料のとおり手当を新設・改正することを承認するが、あわせて、現在、課題となっている救急等を断っている現状を改善する方策を早急に検討する。

4)待機手当について(事業管理者)

- ・当該制度が周知されていないことから、今後、不公平のない制度とするため、制度内容を明確にすることを説明した。

5) 医療技術部の創設等について(事業管理者)

本日資料

・新設する医療技術部に栄養管理室と臨床工学室を追加するとともに、診療情報管理室を病院長の直轄とすることが承認された。実施は平成31年1月1日からとする。

6) 超音波センターの創設について(事業管理者)

本日資料

・超音波センターを創設することが承認され、今後、詳細内容を詰めることとする。

7) 宝塚市立病院職員の論文掲載料の支給に関する要綱の策定について(事業管理者)

本日資料

・同要綱を制定する旨が承認された。施行は予算計上が必要なため平成31年度からとする。

8) 次世代医療基盤法に基づく病院情報の外部保管について(病院長)

・資料に基づいて概要を説明し、病院情報の外部保管を推進するかどうか、市総務部とも相談しながら必要性等を検討することとする。

3 事業管理者からの連絡等

・放射線製剤の供給停止が報告された。

本日資料

平成30年度第8回経営会議の概要

日時:平成30年11月26日(月) 16時30分～

1 報告事項

1)11月分収益・患者数集計(速報)について(経営統括部)

外来出来高は予算よりも4,080千円のプラス。入院出来高は61,216千円の予算よりマイナス。
入外で予算より57,136千円のマイナス。手術件数は整形外科6件マイナスにより合計で7件のマイナス。

2)平成30年10月分損益計算書について(経営統括部)

本日資料

入院稼働額は患者数が293人/日と低調のため、2か月連続で5億円を下回った。
外来は診療日が22日あり、9月よりも6,000万円の増。
経常収支は48,000千円の赤字。4月からの赤字が472,000千円に膨らんでいる。

2 審議事項

1)緊急医療機器整備

- ・膀胱尿道鏡(古倉診療部長)
 - ・会計表示システム 番号札発券機(経営統括部)
- 膀胱尿道鏡と会計番号札発券機について、緊急機器整備で購入することが承認された。

2)外来棟改造工事について(事業管理者)

7月の経営会議で、着手時期を3か月程度伸ばすとしていたが、起債が可能となったことから、工事の着手が承認された。

3)臨床データ集積業務について(黒田診療部長)

本日資料

資料で提案された内容について、検討していくことが承認された。

4)今後の研究費(出張旅費請求や治験費等)について(黒田診療部長)

治験費の取り扱いと出張旅費の回数等の基準について、問題提起があった。

5)診療看護師の採用について(九鬼副院長)

本日資料

救急科への配置を検討することが承認された。

6)遺伝外来の開設について(根來病院長)

本日資料

開設に向けて、院内検討チームを組織し検討していくことが承認された。

7)宝塚市立病院臨床研究審査委員会規程の見直しについて(根來病院長)

本日資料

臨床研究審査委員会規程を見直すことについて、承認された。

3 事業管理者からの連絡等

12月18日(火)16時から医師対象のLGBTの研修会を開催する。

・次回経営会議:12月25日(火)午後4時30分～5時30分

平成30年度第9回経営会議概要

日時:平成30年12月25日(火) 16時30分～17時10分

場所:講堂2

1. 報告事項

1)12月分収益・患者数集計(速報)について(経営統括部)

- ・外来は予算よりも患者数、報酬請求はプラス。入院は予算より患者数はプラスだが報酬請求はマイナス。
- ・入外で予算よりも報酬請求はプラス。手術室の件数は前年度よりも12件の減。

2)平成30年11月分損益計算書について(経営統括部)

本日資料

- ・入院稼働額は5.24億円で5億を超えるのは8月以来。外来稼働額も2.66億で本年度では低くない稼働額。
- ・経常損益は6千万円の赤字。稼働額が多いのに赤字が多い理由として、入院収益が4.95億円と稼働額と比べ3千万円ほど今月は少ない。
- ・4月からの赤字額のトータルは5.32億円で、補正予算で示した赤字見込み額を超えている。

3)医療機関連携アンケートの集計結果について(猪俣副院長(放射線治療担当))

本日資料

- ・資料のとおりアンケート結果について、報告された。

2. 審議事項

1)2019年4・5月 10連休の対応について(事業管理者)

本日資料

- ・臨時経営会議以降、特に反対する意見もなく、4/30・5/1・5/2の3日間を開院する。

2)平成30年度医療機器等整備について(経営統括部)

- ・接続費を追加した金額を持って、当該医療機器の購入金額予算とすることが承認された。

3)倫理委員会の組織変更に伴う規程の見直しについて(根來病院長(がん診療担当))

本日資料

- ・倫理委員会規程の内容の見直しと施行日を平成30年1月7日とすることが承認された。

4)利益相反管理委員会の設置について(根來病院長(がん診療担当))

本日資料

- ・特定臨床研究の推進に合わせて、利益相反管理委員会の設置が必須であり、設置が承認された。

5)放射線治療品質管理委員会の設置について(猪俣副院長(放射線治療担当))

本日資料

- ・がん診療拠点病院となる要件として、放射線治療の安全性をチェックする管理委員会の設置が必須であり設置が承認された。

平成30年度第10回経営会議の概要

日時:平成31年1月28日(月) 16時30分～

場所:講堂2

委員:明石・谷本・今中・根来・妙中・九鬼・猪俣・片上・森山・野田・竹中・宮島・黒田・古倉・馬淵・清水・小林・田ノ岡・吉岡

1. 報告事項

1)1月分収益・患者数集計(速報)について(経営統括部)

- ・ 外来の報酬見込は2億73百万円で予算よりも19百万円プラスになる見込み。
- ・ 入院は5億15百万円で予算よりも47百万円のマイナスになる見込み。
- ・ 入外あわせて予算よりも28百万円のマイナス。外科・その他1は放射線治療と判別できるようにする。

2)平成30年12月分損益計算書について(経営統括部)

本日資料

- ・ 入院稼働額は5.59億円で、11月に続いて2か月連続の5億円超えで、今年度一番多い。入院患者数は345人で、年末にかけて減ったが、こちらも今年度一番多い。
- ・ 外来稼働額は、営業日が19日と少なく2.6億円と多くないですが、一日当たりでは13,767千円と多く患者数も948人と900人を超えるのは初めて。
- ・ 経常損益は8.45百万円の赤字だが、今年度一番少ない赤字。入院・外来とも患者数が大幅回復した効果。年末年始の休みが無ければプラス。4月からの赤字額は5.4億円。あと3か月プラスマイナス・ゼロを目標に。

3)日本医療マネジメント学会第14回兵庫支部学術集会の開催について(事業管理者)

本日資料

- ・ 当番病院として、2020年2月16日神戸国際会議場で、「地域で必要とされる病院とは」をテーマに開催する。開催に向けて院内職員に学会組織編制、関連企業への協賛金等の依頼と演題登録の協力をお願いする。

2. 審議事項

1)平成31年度予算について(経営統括部)

本日資料

- ・ 資料に基づいて、医業収益及び医業費用を説明し承認される。

2)irAEサポートチームの設置について(根来病院長(がん診療担当))

本日資料

- ・ irAEサポートチームの設置に向けて、同チームの所掌事務等を定めた規程が承認される。

3)症例報告の患者同意書について(清水診療部長)

- ・ 臨床研究審査委員会での検討を踏まえ、必要なら経営会議に再度付議する。

4)医師等からの説明時間帯の周知について(馬淵診療部長)

本日資料

- ・ 意見があれば今週前半までに馬淵診療部長宛てに提出し、運営会議で周知する。

5)2019年・10連休営業日における業務体制調査について(事業管理者)

- ・ 3日間の開院に向けて、各診療科・各部署の勤務体制等に関する調査を2月1日期限で調査する。

6)NCD登録事務について(経営統括部)

- ・ NCDへの対応について、検討中の経過として考え方を報告する。

7)今後の研究費について(経営統括部)

- ・ 治験費の取り扱いに関する方針を整備し、その中で出張旅費や負担金の基準を明確にする。

8)2019年度市民公開講座(案)について(経営統括部)

本日資料

- ・ 資料のとおり、次年度は呼吸器、糖尿病、救急、口腔ケアを基本テーマとして、開催することが承認された。

平成30年度第11回経営会議の概要

日時：平成31年2月25日（月） 16時30分～17時30分

1 報告事項

- 1) 2月分収益・患者数集計(速報)について（経営統括部）
 - ・集計期間の17日までは休診日が多くなっている。28日間で集計すれば、数字はもっと良くなる。外来は予算よりもプラス。単価は15,000円越えて好調。入院は5億円ぐらいを予想。患者数は358人と多いが、単価は50,000円前後が予想される。
- 2) 平成31年1月分損益計算書について（経営統括部） 本日資料
 - ・入院稼働額は5.4億円で、11月以降5億円越えが続いている。入院患者数は340人だが、単価が51,327円と下降。2月は5万円割れが予想され、単価アップが今後の課題。
 - ・外来稼働額は2.75億で12月よりもプラス。患者数949人、外来単価15,275円で、今年度初の15,000円越えて外来は好調。経常損益は約2千万円赤字。年間赤字額拡大し5.6億円。
- 3) 自動採血採尿受付機の設置場所について（馬淵診療部長） 本日資料
 - ・手すりをカットして食堂とコンビニの間に受付機器を設置する。有人受付の分散を図り検査患者が滞留しないようにする。
- 4) 公文書等における障害者等の「障害」の表記について（経営統括部） 本日資料
 - ・本市では、原則、障害の「害」の表記を「碍」に本年4月1日から改める。本院でも病名や症状等に関して、カルテ等での表記を検討する必要がある。

2 審議事項

- 1) 整形外科ナビゲーションシステムのレンタル承認について（森山副院長）
 - ・4月から赴任する整形外科医師が人口関節置換術を実施する。手術精度向上に寄与することから同機器をレンタルすることが承認された。
- 2) 2019年10月22日（火）（即位礼正殿の儀）の休日の扱いについて
 - ・10月22日については、開院することなしに休日とすることを決定した。
- 3) 院内における録音・録画等に関する取り扱いについて（経営統括部） 本日資料
 - ・録音、録画等に関する取扱要綱を制定して、原則禁止する。医師が説明する際に録音する場合は、あらかじめ当該医師の承諾を求めてもらうこととする。
ただし、患者が承諾を得ず録音しても違法ではないので、院内ポスター等での周知は「原則、録音は禁止」とせず、「録音はご遠慮ください」にとどめる。また、必要な周知期間を設けて実施することが承認された。
- 4) 乳腺外科の院内標榜について（事業管理者）
 - ・西野医師が専門医の資格を取得。本院はがん治療に力を入れていくことから、まず院内標榜をはじめ患者を増やしていく。市内の開業医とも連携して対応することとし、乳腺外科を院内標榜することが承認された。
- 5) 血液浄化療法センター横の通用口の運用について（経営統括部） 本日資料
 - ・北出入口の土日等の扱いは、患者の利便性を考慮して引き続き開けるとするが、管理部門に上がらないような取り組みをする。

- ・北出入口以外にも無人の出入口が多数ある。病院リスク管理上の問題がある。施設のリスク管理だけでなく院内への感染管理としても問題がある。引き続き、無人出入口の管理について検討していかなければならない。

6) 医師等からの説明時間帯の周知について (馬淵診療部長) 本日資料

- ・ご意見を踏まえ一部修正した。入院支援センターで資料を渡し説明してもらう。

7) 平成 30 年度立ち入り検査後の指導への対応について (黒田診療部長)

- ・医療安全委員会で、検討状況等を説明。
資料の②について、高難度新規医療技術導入プロセスをガイドライン方式で対応する方向で検討していることの報告があった。

8) 放射線治療センターアルバイト職員の採用要望について (がんセンター長)

- ・同センターでの補助職員の必要性は認識する。新たに人を採用するのではなく、既存人員の配置転換で対応していくこととする。

9) 遺伝外来の開始について (根来病院長 (がん診療担当))

- ・関係者が集まって、遺伝外来の開設に向けて検討している内容を報告する。

10) 内視鏡手術用支援機器 (ダヴィンチ) の導入に向けた研究について (古倉診療部長)

本日資料

- ・近隣病院で導入が進んでいることや、泌尿器科や外科系を希望する研修医は、ダヴィンチがある病院を希望する。本院でのダヴィンチ導入の必要性等を検討する研究会を設置することが承認された。

(その他)

1) 画像 CD を取り込むソフトを購入するようだが、各診療科が利用できるよう要望する

- 画像取り込みソフトを 4 月に購入するが、誰が画像読込作業をするかが課題。
一斉に取り込めないので、どの診療科から優先的に取り込むかを今後決める。

2) 設置が延期になっている超音波センターは、今後どうなるのか。

- 現在、設置に向けて調整中であるが、4 月 1 日を目標に設置する予定。

平成30年度第12回経営会議要約

日時:平成31年3月29日(金) 16時30分～

場所:講堂2

委員:明石・谷本・今中・根来・猪俣・片上・森山・野田・竹中・宮島・黒田・古倉・清水・小林・田ノ岡・吉岡

1. 報告事項

1)3月分収益・患者数集計(速報)について(経営統括部)

- ・外来収益は予算に対して33,390千円増収となる見込み。
- ・入院収益は逆に34,205千円減収となる見込み。
- ・入院単価は昨年同月比で-3,734円の低下で、50,042円となる見込み。

2)平成31年2月分損益計算書について(経営統括部)

本日資料

- ・入院稼働額は5.13億円、外来は2.7億円であった。
- ・入院患者数が362人であったが、単価が50,532円で結果として月次損益が-32,183千円となった。
- ・2月までの11か月分の経常損益は5.93億円の赤字である。
- ・単価の減少が顕著であり、今後の単価アップが課題である。
- ・次年度より、兵庫医大のマンスリーレポートと同様の資料を添付することとする。

3)適時調査の結果について(経営統括部)

- ・夜間看護体制加算(12対1)について指摘された。
- ・3月分について返金の可能性がある。
- ・次年度4月より、16対1の施設基準とする。

2. 審議事項

1)整形外科手術用電動ドリル・ボーンソのレンタル承認について(森山副院長)

- ・整形外科の手術数増に対応するため、手術用電動ドリルの緊急医療機器整備が承認された。

2)平成31年度の体制について(事業管理者)

本日資料

- ・平成31年度委員会委員長について資料のとおり承認された。

3)平成31年度病院事業目標の設定について(経営統括部)

本日資料

- ・2019年度の病院事業目標について、資料のとおり承認された。

3. 事業管理者からの連絡

- ・4月より難波先生(前兵庫医大病院長)が総長として就任される。
- ・谷本副事業管理者が今年度末で退職される。
- ・馬淵先生がご本人の事情によって診療部長から主任部長となった。

平成30年度9月臨時経営会議要約

日時:平成30年9月12日(水)16:30~17:30

1. 協議事項

1)平成30年10月1日付組織改正について(事業管理者)

- ・医療技術部の新設について、関係部門との協議調整で出た課題の「所属」と「働く場」の概念の整理について説明する。
- ・医療技術部のトップは、医療技術系の職種の職員が就任する方向で考える。
- ・「組織」としての名称と「働く場所」の名称の違いが分かりにくく、混乱するのではないか。
- ・近隣病院の組織名称はどうなっているのか。他の病院も案と同様の名称になっているのか。
- ・阪大病院等では、医療技術部のもとに検査技師、セラピスト、栄養士等の職種名となるのではないか。組織名を使うと混乱するのではないか。
- ・再度、整理したうえで提案する。医療技術部の組織新設を10月1日付で行わず、今後の懸案事項とする。

2)臨床研究推進室の創設について(事業管理者)

- ・臨床研究推進室を10月1日から設置する。
- ・創設する目的・事務分掌・体制(案)・近隣病院での組織・現在の臨床研究の実施状況について説明する。
- ・同室の副室長を薬剤師が兼務することになっているが、現在でも多忙であり兼務は難しい。専任の職員を配置しないと管理は厳しいと思う。

3)特別医療業務手当の改正等について(事業管理者)

- ・改正の趣旨、改正内容等について説明する。
- ・どの診療科に割り振るかは、救急科九鬼副院長から順番にお願いする。
- ・手当を改正するのではなく、開業医から緊急等の紹介患者を院内でどのように対応するするのか。窓口を一本化したり、システムを設ける方が先ではないか。手当を改正するだけでは問題は解決しない。
- ・診療科が明確でない患者をどこが対応するか。院内で明確にしていかないと、断らない救急はこのままでは達成できない。
- ・救急患者の対応は、医師だけが対応しているのではない。医師以外の職種の理解が得られないのではないか。医師手当を改正することに反対である。インセンティブを設けても、一時的で問題解決にならない。手当を上げる予算や財源はどうするのか。
- ・手当を上げると2,500万円ぐらいの予算増になるのではないか。それに見合う患者・収益が増えなければならないのでは。
- ・当該事項については、反対意見もあることから、この程度とする。

平成30年度12月臨時経営会議 概要

日時:平成30年12月17日(月)17:00~17:30

場所:講堂2

1 協議事項

1) 2019年5月・10連休の対応について (事業管理者)

本日資料

4月30日、5月1日、5月2日の3日間を通常体制で開けることについて

- ・市立病院が明ける場合、宝塚市内の開業医も開けたいとの情報あり。
- ・3日間連続して開けることで長期休暇中の病院機能と経営を維持する。
- ・市の意向は確認していない。
- ・市労働組合は現場が了解しておれば反対はないと考える。
- ・応援医師が無い前提で外来を行う
- ・委託業者にも出勤の可能性は伝えた。

12月25日開催の経営会議で課題が無いかを確認の上、決定することとした。

2) 平成30年度医療機器等整備について (経営統括部)

セントラルモニタ送信機をSpO₂対応の機器に変更することについて

- ・承認。購入差額は1,271,160円

3) その他 (事業管理者)

超音波センター設置の延期について

- ・2019年1月1日付けで予定していた超音波センターの設置を延期する。
- ・設置には経営会議の承認を得たが、設置に向けた課題があり、延期することが承認された。